

一般質問

日本国土教育

栗野 仁博 議員
(自民みらい / 伊賀市選出)



問

近年、我が国の領土領海問題が顕在化しています。子どもたちに我が国の領土領海を認識してもらう教育が重要であり、日本全図を子どもたちが身近に見られる環境を整備することが大切と考えます。そこで、子どもたちの国に対する愛国心の醸成や、正しい日本の地理的な学習を推進するうえで、正しい日本地図の教室揭示が必要と考えますが、いかがですか。

答

小中学校では、詳細な地域地図や日本全体の地図のほかに、地球儀等の教材などにより日本の領域と周りの国々についての指導が進められています。視覚的に日本の領域を意識できる環境の整備は大切です。今後、地図も含めた効果的な指導方法の工夫・改善について市町教育委員会と検討していきます。



○野球競技力向上について ほか

オープンデータ・ビッグデータの活用

吉川 新 議員
(新政みえ / 度会郡選出)



問

行政の持つデータをオープンにし、市民が行政の予算ゼロでバスの走行情報などが分かるソフトを作った市もあります。本県でも県保有データをオープンにし、県民の知恵を活用すれば、行き届いた県民へのサービス向上のほか、安いコストで効用の高い県政の戦略策定や、起業促進などの効果が期待できると思いますが、取り組みの現状をお聞かせください。

答

①オープンデータ・②ビッグデータの創出については、産学官連携による協議会を平成25年7月に設立し、観光、健康、共通基盤といったテーマごとにワーキンググループを設け、参画企業からの提案を受けながらビジネスモデルの検討を進めています。



○障がい者雇用 ほか

県立志摩病院の評価と今後の展望、期待

中嶋 年規 議員
(自民みらい / 志摩市選出)



問

平成24年4月から県立志摩病院に指定管理者制度が導入され、3年目を迎えました。経営努力が改善するなどの経営努力は評価できます。平成22年以前知事は「全国から注目される病院に」「指定管理者制度により病院の新しい魅力を生み出していました。3年目を迎え、現時点での知事の評価と今後の展望、期待についてお聞かせください。

答

常勤医師の大幅な増員や救急医療体制の拡充など、順調に病院機能が回復しているという評価はあります。将来への思いは同じですが、当面の最優先課題は、各診療科への常勤医師配置や救急医療体制の一層の回復など、病院機能の整備であり、これにより、志摩地域の医療が一層充実していけばと考えています。



○スポーツによる元気な三重づくり ほか

少人数学級の推進

森野 真治 議員
(新政みえ / 伊賀市選出)



問

本県の予算に対する少人数教育推進事業費は、なだらかな減少傾向にあり、少人数学級の推進は足踏み状態にあります。この間も教育に熱心な都道府県では少人数学級が進められており、本県の学力・学習状況調査の結果が全国平均より低いのは当然のことと言えます。本県ではなぜ少人数学級が進まなかったのか。また、今後進めていく考えはあるのか、お伺いします。

答

本県では、限られた予算を工夫し、少人数学級編制を順次実施してきましたが、さらに推進するには相当の財政負担を伴います。引き続き国に対して学級編制標準の引き下げを要望するとともに、少人数教育を後退させないよう、教員加配の維持、確保に努めていきます。

○消防団員の確保 ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しています。